

どこの国にも児童書がある

～IBBY 推薦図書、未提出の国々の児童書～

国際児童書評議会 (IBBY) では、2年に一度、加盟各国から推薦図書を募り、IBBY オナーリストを作ります。しかし、IBBY に加盟していない国もあれば、加盟しているけれどその年に推薦図書を提出しなかった国もあります。でも、どこの国にも子どもの本はあります。本展示では 2010 年、推薦図書を出さなかった国の児童書を紹介しています。 * 出版国は () に表示してある国です。

(インドネシア)

1) Masarasenani dan matahari : cerita rakyat dari Papua (マサラセナニと太陽 : パプアの民話) / diceritakan kembali oleh Murti Bunanta ; ilustrasi oleh Hardiyono = Masarasenani and the sun : a folktale from Papua / retold by Murti Bunanta ; illustrated by Hardiyono. [Jakarta] Kelompok Pencinta Bacaan Anak [2006] 当館請求記号 (Y17-io-B10850)

むかしむかし、太陽の照っている時間は今よりもずっと短かったのです。村の人々は十分働くことができず、飢えに苦しんでいました。そこで、村人の一人マサラセナニは太陽を罾にかけて捕まえて太陽に文句をいいます。太陽はマサラセナニの言い分を聞いて、もっと長いこと空に居るようになりました。

2) Joko Kendil : si periuk nasi = Joko Kendil : the rice pot (米櫃くん) / [Suyadi]. [Jakarta] Kelompok Pencinta Bacaan Anak [2001?] 当館請求記号 (Y17-io-B10855)

米櫃くんは米櫃の形で生まれてきました。でも、お母さんは米櫃くんを可愛がり「いつか立派な人になる、そして王女さまと結婚する」といつも歌って聞かせます。米櫃くんはいたずら好きの元気いっぴいな少年に育ちます。そして、王女さまと結婚します。最後に米櫃くんはハンサムな王子に変身します。米櫃くんは、実は魔法にかけられた王子さまだったのです。

(スリランカ)

3) Sena and Sita (セナとシタ) / K. Jayatilake ; a new translation by Joyce Gunawardena; illustrated by Sumana Dissanayake. Colombo Printed by Samayawardhana [19-] 当館請求記号 (Y17-ce-A1794)

兄のセナと妹のシタは仲のいい兄妹ですが、時にケンカをします。ある時、ケンカのあげくセナはシタをなぐってしまい、怒ったシタは森に行ってしまう。セナは一人で遊ぼうとしますが、寂しくなってシタを探しに行きます。森の中でシタは動物に囲まれて遊んでいました。シタを殴ったりする動物はいません。セナは反省してシタと仲直りします。

4) Bindu and catapult (ビンドとぱちんこ) / written by Damayanthi Camala Samarasekera ; [drawing by Sybil Wettasinghe]. Wellampitiya Nimal A. Perera 1986. 当館請求記号 (Y17-ce-A5015)

少年・ビンドは友達に石を飛ばすパチンコを貰い、石を飛ばして鳥を取ったりしていました。お母さんは止めるようにいいますが、ビンドは続けていました。ある日、石が誤って妹に当たり、妹は怪我をしてしまいます。ビンドはパチンコで遊ぶのを止めます。やがてビンドの家の庭にまた以前のように鳥たちが戻ってきました。挿絵を描いているシビル・ウェタシンハは「かさどろぼう」「ねこのくにのおきやくさま」「きつねのホイティ」などで日本にも親しまれています。

(シンガポール)

5) What Sallamah didn't know (サッラーマが知らなかったこと) / written by Sharon Ismail ; illustrated by Khairudin Saharom. Singapore Candid Kids 2007 当館請求記 Y17-si-B12391)

両親と兄弟姉妹に囲まれて平凡に日々を送っていたサッラーマは、ふとしたことから自分が両親の実子でないことを知ってしまいます。家族ってなんだろうと考え込むサッラーマは悩みながら自分の答えを出していきます。

- 6) Ah Kong's clock (おじいさんの時計) / written by Belinda Chan ; illustrated by Lynette Long.
Singapore Straits Times Press c2009. 当館請求記号 (Y17-si-B12140)
おじいさんは大きな時計を持っています。その時計はおじいさんのお父さんから伝えられたものです。家族の一員のような時計の調子が、ある日、悪くなりました。でも、また直って動き出しました。

(ヴェトナム)

- 7) Từ Thức gặp tiên = Tu Thuc meets a fairy (ト・スック、仙女に会う)/Phuong Hoa [Hà Nội] : Kim
Đông, [2000] 当館請求記号 (Y17-vm-AZ2930)
宮廷につかえる若い役人のト・スックは、ある日、寺で美しい少女と出会います。さまざまな事情で、勤めを辞したト・スックは旅に出てその美しい少女と再会し、宮殿のような、彼女の家で三年の時を過ごしますが、故郷が恋しくなります。故郷に帰ったト・スックは故郷ではすでに三百年の年月が過ぎて
いることを知ります。

(台湾)

- 8) 受傷的天使 (傷ついた天使) / 馬雅文・圖 台北：信誼基金出版社，上誼文化實業，2005.4
当館請求記号 (Y17-ch-AZ5498)
妹は他の子とは違っています。授業にうまくついていけないし、他の子のできることができなかつたりします。また、他の子どもたちにいじめられたりもします。私はお母さんに「どうして妹は私たちとは違うの？」と訊きます。お母さんは「子どもはね、この世に来るまでは、みんな天上で天使だったの。でも、あの子はここに来る途中で怪我をしてしまったの。だから、私たちはあの子に新しい羽根を伸ばしてあげなくてはいけないの。あの子が自分で飛べるようにね」と言います。

- 9) 水果們的晚會 (果物たちのパーティー) / 楊喚文；黃本蕊圖 新竹 和英出版社 2004
当館請求記号 (Y17-ch-AZ5524)
果物屋さんの窓から月の光が射し込み、夜中の十二時をまわった頃、果物たちが目をさまし、それぞれの果物の特徴を生かした踊りや歌が始まります。虫たちも加わって大騒ぎ。やがて朝になり太陽が上がり、パーティーはお開きになります。

(ブルネイ)

- 10) Si gelas yang kurus (薄いグラス)/Mohd Jaafar Zabidi; illustrasi and Reka bentuk Hiasan Kulit
Darussalam: Dewa Bahasa dan Pustaka Brunei 1997 当館請求記号 (Y17-bx-AZ3450)
ある村に美しい家がありました。その戸棚の中にたくさんのカップと、ひとつのグラスがありました。グラスは、形状が違っていることからカップたちからかわれます。でもある日、お客さんが来たとき、冷たい飲み物を出すのに使われたのは薄いグラスでした。不満を述べるカップたちに長老のカップが、「形状が違っているだけで差別するのはいかん」と述べて、グラスとカップは互いに仲間同士であると確認しあいます。

(フィリッピン)

- 11) Tight times (大変な時) / story by Jeannette C. Patindol ; illustrations by Sergio T. Bumatay III.
Quezon City Adarna House 2007. 当館請求記号 (Y17-ph-B9293)
ネズミの一家の話です。ネズミのお父さんが失業してしまい、家族は無駄を省いた生活を心がけます。大変ですが、家族の結びつきは逆に強まります。やがて、お父さんは自分で仕事を始めました。大変な時を家族みんなで乗り切ったのです。本書は、2007年フィリッピン児童書評議会サランガ賞受賞作です。作者の Jeannette C. Patindol は、両親の離婚を扱った “Papa's house, Mama's house (パパの家、ママの家) (当館請求記号 Y17-B9386) で同じく 2004 年同賞を受賞しています。

- 12) The Christmas fireflies (クリスマスの蛍) / by Girl Valencia ; illustrations by Beulah Pedregosa
Taguigwalo. Quezon City Papertree Pub. c2004. 当館請求記号 (Y17-pj-phB9382)
お母さんを亡くしたギリアンは、お母さんにもう一度会いたいと思ってよく星を眺めます。ある晩、ギリアンはお母さんの夢を見ます。目が覚めたギリアンのところに星が降ってきます。よく見るとそれは星ではなくて蛍でした。その蛍はクリスマス・ツリーのところで美しく輝き続けます。2004年国内最優秀図書賞 (児童文学) 受賞作です。

(カザフスタン)

13) Tazsha balangyng tangghazhaiyl tirligi = Prikliucheniia Tazsha-baly = Adventures of Tazsha-bala (タズシャ・バラの冒険) Almaty Almatykitap 2002. 当館請求記号 (Y17-B5362)
タズシャ・バラというのは「できものだらけの汚い」という意味です。そう呼ばれていた孤児の男の子がいました。男の子は、バザールでひとり暮らしの老人と会い、親子として暮らし始めます。頭がよく、機知に富んだタズシャは、人々を苦しめる悪い金持や王様をやっつけます。カザフスタン民話の主人公であるタズシャ・バラの物語は古くから親しまれ、オペラにもなっています。

14) Kazakhskie narodnye skazki. (カザフスタン民話) Almaty Mektep 2002.

当館請求記号 (Y8-B3238)

「英雄・アダック」「奇跡の庭」「賢いジレンツェと美しいカラシャシュ」「夢を買った少年」などのカザフスタン民話が収録されています。

(ネパール)

15) Gyalpo's journey (ギャルポの旅) / text by Christine Moktan ; illustrations by Eva Kipp ; translated into Nepali by Bhuvanewari Satyal. Kathmandu Sunbird Pub. House c1998.

当館請求記号 (Y17- np-A3754)

お母さんが病気になりました。ギャルポは山の上の離れたところに住む導師に治してもらうように頼みにいきます。一度目は冷たくあしらわれますが、勇気を出してもう一度お願いしたところ無事お願いすることができました。ネパール語と英語併記。

16) Who has eaten the maize? (誰がとうもろこしを食べるの?) / text by Ramailo Kitaab Team ; illustrations by Bona Chhetri ; cover illustration by Santa [i.e. Shanta] Hitang. Kathmandu Sunbird Pub. House c1998.

当館請求記号 (Y17-np-A3750)

質問と答えで構成されています。「誰が本を傷めるの?」「シロアリです」というところもあります。ネパール語と英語併記。

(アラブ首長国連邦)

17) おばあちゃんと月

当館請求記号 (Y17-ts-AZ5953)

جدتي والقمر / نص فاطمة شرف الدين ; رسوم مايا فداوي
الشارقة كلمات للنشر والتوزيع
2008

大好きなおばあちゃんが亡くなりました。おばあちゃんは天に昇ったといわれた女の子は天にいるお月さまに呼びかけます。そしてまたおばあちゃんに会うことができました。お母さんは「おばあちゃんは死んだけど、みんなの心のなかに生きているのよ」といいます。

18) もしも僕が鳥だったら

当館請求記号 (Y17-ts-AZ5885)

لو كنت طائرا / نص فاطمة شرف الدين ; رسوم أمل كرزاي
الشارقة كلمات للنشر والتوزيع
2009

少年の一家は近所の人たちと共に、住みなれた家と土地を離れて柵に囲まれた場所に移ることを余儀なくされます。少年は自分が鳥なら、柵の向こうの住み慣れた家と土地に飛んでいけるのにとおもいます。お父さんは希望を捨ててはいけないと言います。

(ヨルダン)

19) わたしできるもん

当館請求記号 (Y17-jo-AZ5900)

إنني أستطيع / قصة تغريد عارف النجار ; رسوم لجينة الأصيل
عمان السلوى للدراسات والنشر
2006

幼稚園に通っているジュデはちょっと言葉がうまく出ないことがあり、そのことだからかわれ悲しい思いをします。ジュデにはまだ赤ちゃんの弟・ザイードがいます。ザイードをあやして、言葉を繰り返すうちにちゃんと単語が出るようになりました。

20) グール (怪物)

当館請求記号 (Y17-jo-AZ5934)
الغول / قصة تغريد عارف النجار ; رسوم لمياء عبد الصاحب
عمان السلوى للدراسات والنشر
2002

ハサンは村人に恐ろしいグール (怪物) について聞きます。ハサンは勇気を出してグールのところに行ってみました。そしてグールと友達になりました。アラブ圏に伝わっている伝説では、グール (怪物) は、死者や子どもを食べたりする存在です。

(タンザニア)

21) Raha zambarau / hadithi na michoro, Nadir Tharani = Purple pleasure (心弾む紫) / story & illustrations, Nadir Tharani. Dar es Salaam E & D Ltd. c2005.

当館請求記号 (Y17TZ-T367-B9318)

森の中に一軒の家がありました。その家にあつた箆笥の中に紫色の貝がありました。この紫色が外に漂いだします。花も紫、女の人の爪の紫、フルーツから紫色の音楽、女の人の唇も紫、その唇でキスされた子どもについた紫は子どもを一晩中、微笑ませるのです。タンザニアの公用語はスワヒリ語と英語で、本書はスワヒリ語と英語併記です。

22) Clouds = Mawingu (雲) / Nadir Tharani ; imetafsiriwa na Demere Kitunga. Dar es Salaam E & D Ltd. c2003.

当館請求記号 (Y17 TZ-T367-B9317)

むかし、むかし三つの雲がいました。雲は自由に空や森を漂っていましたが、あるとき空き家を見つけてそこに住むことになります。まわりの人間たちは視界が悪くなって大混乱。雲は家を出てまた放浪生活に戻ります。そして、このほうがずっといいなと思います。スワヒリ語と英語併記。

(ナミビア)

23) Giliwe and Diliwe : and other monster stories (ギリヴェとデリヴェ、そのほかの怪物のおはなし) / illustrated by Joe Madisia ; Namibia Oral Tradition Project Windhoek, Namibia New Namibia Books c1996.

当館請求記号 (Y17NA-M182-A4801)

ギリヴェとデリヴェは姉妹です。お母さんと山の洞穴のなかで暮らしています。ある日、ギリヴェは自分たちは、どうしてここで暮らしているのか、父親はなぜいないのか不思議に思って、お母さんに質問します。お母さんは悪い怪物たちが村の裏に住んでいてお父さんを殺したのだと告げます。ギリヴェは夢に出てきたお父さんの助けを借りて、悪い怪物たちを退治します。ナミビアに伝わる怪物についての民話集です。ナミビアの公用語・英語で書かれています。

24) Imagine you could fly (飛ぶことができると想像してごらん) / rhymes and illustrations by U. Schwanecke. Windhoek, Namibia Gamsberg Macmillan 1994.

当館請求記号 (Y17NA-S398-B9183)

さまざまな鳥についての詩です。でも鳥といってもおもちゃの鳥や時計の鳥もいます。人間はもちろん空を飛ばません。でも、想像力を働かせてみましょう。

(ケニア)

25) Toko and the lost kittens (トコと迷子の子猫たち) / Stephen Alumenda. Nairobi East African Educational Publishers 2003.

当館請求記号 (Y17KE-A471-B10279)

ある晩、トコの飼い犬のラッキーが激しく吼えます。何かと思って出て行くと子猫が四匹いました。トコは両親と一緒に子猫たちを助けます。翌日、学校に行く途中、「子猫たちがいなくなった」という張り紙を見ます。お父さんに連絡してもらおうと持ち主が引き取りにきました。トコはそのうちの二匹をもらいました。ケニアの公用語はスワヒリ語と英語で、本書は英語で書かれています。

26) Kuku na mwewe (鶏と鷹) / [Nyambura Mpesha ; michoro, Oscar Esikhaty na Oliver Karenga]. Nairobi Phoenix Publishers c2001.

当館請求記号 (Y17KE-E75-B10150)

むかし、鶏夫人と鷹夫人は仲良しで助け合って暮らしていました。しかし、あるとき鶏夫人が鷹夫人に剃刀を借り、その剃刀を鶏一家が紛失してしまったことから両家は決裂し、鷹が鶏の子どもを食べるまでになってしまいました。ケニアの公用語はスワヒリ語と英語で、本書はスワヒリ語で書かれています。

(ガーナ)

27) The blue marble (青い玉) / Jackee Budesta Batanda ; illustrated by Nana Ama Ahwoi ... [et al.]. Accra, Ghana Sub-Saharan Publishers c2005. 当館請求記号 (Y17GH-A287-B9300)

お母さんが亡くなり、アジャボの家では、三人姉妹の一番上の姉のナフラがほかの2人と協力しながら家事をこなしています。ナフラが作った菓子を売りに行ったアジャボは大学生の女の人に幸福を招くという青い玉をもらいます。でも、暮らしはなかなか大変です。そのうち、お父さんが再婚すると言いだしました。姉妹は仲良くしている小母さんのところに相談に行きます。姉妹はお父さんの再婚を快く思っていません。自分たちだけでやっていけるとも思います。そんなある日、お父さんが再婚相手連れてきました。なんと、それは姉妹が相談に行った仲良しの小母さんでした。姉妹は喜びます。青い玉が幸福を招いたのかもしれない。

(マリ)

28) Le prince de l'amour (愛の王子) / texte, Moise K. ; illustrations, Jean-Claude Kimona. Bamako Figuier c2000 当館請求記号 (Y17ML-K49-B6305)

昔、小さな王国同士がいつも戦争をしていました。カロン王国にハマディという王子がいました。王子は、ある日、王国に立ち寄った小人の音楽師と音楽をかなで、二人は友達になります。やがて小人の音楽師は宮殿を去り、ハマディ王子はこの小人の音楽師をさがして旅に出ます。長い旅を続けたあと、小人の音楽師に会い、ハマディ王子は、音楽は人々に愛を与え、戦争を終わらせると知ります。音楽を奏でる王子により戦争は終わり、ハマディは「愛の王子」と呼ばれるようになりました。マリの公用語は、フランス語と各民族言語です。

(セネガル)

29) Le jardin des rues (通りの庭) / texte de, Beatrice Lalinon Gbado ; illustrations de, Daniel Severin Ngassu. Dakar, Senegal Bibliotheque lecture developpement c2005. 当館請求記号 (Y17SN-N576-B9350)

ケティアのお母さんは亡くなりました。残されたお父さんとケティアは淋しいなかで、庭をなんとかしようとします。そんなある日、ケティアは道端でごみのなかから資源を探している少年たちに出会い、お父さんと相談して彼らの力を借りることにします。セネガルの公用語は、フランス語と各民族言語です。作者の Beatrice Lalinon Gbado はベナンの作家ですが、彼女の本は各国で出版されています。

30) Moi Sirou, chat senegalais (僕はシロウ、セネガルの猫だ) / texte de Mariame Kante ; illustrations de Pape Thierno Niang. Dakar BLD Editions c2007. 当館請求記号 (Y17SN-N577-B9372)

「シロウ」というのは人間が僕を呼ぶ言い方です。セネガルでは虎猫はみな「シロウ」と呼ばれるのです。お母さんが僕にくれた名前は「へへ」です。セネガル人は暖かく親切なことで知られていますが、猫に対してはなかなか厳しいところもあります。猫は自分たちで算段して、餌を自分で調達したりしてたくましく暮らしているのです。

(ジンバブエ)

31) What Albie saw (アルビーの見たもの) / M.H. Tredgold ; [illustrated by M.H. Tredgold]. Harare Baobab Books 1994. 当館請求記号 (Y17ZW-T786-A4855)

少年・アルビーは足が不自由です。両親が仕事に出かけた後、アルビーは窓から外を見ています。いつも通りを通るマッジおばさんとアルビーは、毎日、挨拶を交わす仲です。ある日、マッジおばさんが犯罪に巻き込まれました。窓から見ていたアルビーは警察に犯人と思しき男たちを知らせます。男たちはやはり犯人でした。

32) Syankombo (少女・シャンカンボ) / by Duly Mudenda and Kansu Nagunga. Harare Africa Community Pub. and Development Trust Africa Book Development Trust 2003. 当館請求記号 (Y17ZW-k-55-B4144)

シャンカンボは未来に起こることを夢で見ることができるといえる能力を持っています。ある日、二人のお姉さんが、すてきな二人の青年と知り合いになり、彼らの家を訪ねるといいます。でもシャンカンボには二人の青年は姿を変えたライオンであることがわかります。お姉さんたちは信じませんが、最後、シャンカンボに救われることとなります。

(ナイジェリア)

33) Tales by moonlight. (月あかりのお話) Ibadan Heinemann Educational Books (Nigeria) Plc 2002. 当館請求記号 (Y17NG-B9305)

「男、その息子たち、牝牛」「どうして猫とネズミは敵になったのか」「老人と砂糖きび」「どうして亀の背中にはひびがあるのか」などナイジェリアの各民族の民話を集めてあります。

34) Lara and Kariba (ララとカリバ) / F. Adetowun Ogunsheye. Ibadan, Nigeria Spectrum Books Ltd. 2003. 当館請求記号 (Y17NG-O35-B9298)

ララは三人兄妹の末っ子の小学生です。ララの家にはカリバという名前の犬がいます。ララには仲良しの友達ビシがいます。ララはビシと一緒にいろんなところに行きます。ララの日常を描いています。

(ボツワナ)

35)Dimo and Chewelo (ディモとチェウエロ/ by Judah Seomeng. Gaborone, BotswanaPyramid Pub.2004. 当館請求記号 (Y17BW-S478-B9287)

ボツワナの民話です。かつて荒々しい巨人・ディモが住んでいて、いろんな生き物を脅かしていました。おばあさんと一緒に住んでいた少女・チェウエロは、ディモが来るので引っ越そうとおばあさんに言われますが、聞きません。おばあさんは引っ越してしましますが、チェウエロは住み続け、他の生き物たちの助けを借りて、ディモをやっつけます。ボツワナでは英語が公用語ですが、ツワナ語、カラング語、カラハリ語などが話されています。

(カメルーン)

36)Pourquoi je ne suis pas sur la photo? (どうして僕が写真にいないの?) / texte, Kidi Bebey ; illustrations, Christian Kingue Epanya. Yaounde Editions Clec1999. 当館請求記号 (Y17CM-E63-B6304)

小さな少年・ティティは、みんなと家族の写真を見て自分がその中にいないのに驚きます。ティティはまだ生まれていなかったのですが、そのことがわからないティティはいろんな人に訊いてまわります。

(コートジボアール)

37)Un village dans les montagnes (山の中の村) / Gba Mariame ; illustration de Koffi Mark Jolsen. AbidjanNouvelles Editions Ivoiriennes c1999. 当館請求記号 (Y17CI-J75-B6059)

その日の朝、ナン・サレ小母さんはご機嫌でした。昨日、息子のサディアが村に来たのです。それも一人ではなく娘のソニアを連れてきたのです。小さなソニアが村を訪れるのは初めてです。ナン・サレ小母さんは、ソニアを村のあちこちに連れて行きます。

(ベナン)

38)Le rat et le serpent (ネズミとヘビ) / Beatrice Lalinon Gbado ; Francois, C. Yemadje. [Cotonou, Benin] Ruisseaux d'Afrique c2007. 当館請求記号 (Y17BJ-L105-B12057)

ネズミのトチャムとヘビのゴンニはいい友達でした。あるとき、トチャムが「人間はいい」と言います。トチャムは大家族と一緒に人間の家に住み、食べさせてもらっていたので「人間はいい人たちだ」と思って、そういったのです。ヘビのゴンニは「人間の味はいい」と受け取り、人間に噛み付いてみますが、おいしくないばかりか人間が死んでしまいます。以後、人間はヘビを見ると恐れて殺すようになり、人間とヘビの間は険悪になりました。

39)Maman (お母さん) / auteur, Beatrice Lalinon Gbado ; artistes sous-verre, Mamadou Wolid Niang ... [et al.]. Cotonou Ruisseaux d'Afrique c2005. 当館請求記号 (Y17BJ-N577-B12062)

ベナンの児童文学作家 Beatrice Lalinon Gbado の母をたたえる詩に、複数の挿絵画家が絵を描いています。

(ウガンダ)

40) How Namudiguli saved her sister (どんなふうにしてナムデグリは姉を助けたか) / Gerald M.M. Matovu. Kampala, Uganda Fountain Publishers 2003. 当館請求記号 (Y8-B7850)

ナッダイーのお母さんはナッダイーを産むとすぐなくなっていました。お父さんは再婚して、妹のナムデグリが生まれます。二人はとても仲良しでしたが、継母はナッダイーの美貌を憎んでナッダイーを殺そうとします。しかし、妹のナッダイーの知らせによりお父さんがナッダイーを救いだします。ウガンダの民話シリーズの中の1冊です。子どもたちの英語能力を高めるように編集されています。

41) The orphan boy (孤児) / James Ocita. Kampala, Uganda Fountain Publishers 2002.

当館請求記号 (Y8-B7785)

ロビンは優秀できちんとした子でした。でも、両親がエイズで亡くなりロビンの生活は一変してしまいます。叔父の家に住むことになりましたが、叔母とうまくいかず飛び出し、ロビンの生活は乱れ始めます。しかし、さまざまな人と会ううちにロビンはこのままではいけない、生活を立て直そうと決意します。ウガンダの青少年を取り巻く問題を扱った「生きていく若者」シリーズの中の1冊です。

(セルビア)

42) Jos nam samo ale fale (必要なのは龍) / Ljubivoje Rsumovic ; ilustracije Dusan Petricic.

[Beograd] RSUM Grafoprint 2007.

当館請求記号 (Y17RS-P495-B10672)

龍についての詩を集めてあります。挿絵画家ドーサン・ペトリッチ Dusan Petricic は、児童書の挿絵で多くの賞を受けています。

43) Zamislite (想像してみてください) / Dusan Radovic ; ilustrovala Manja Stojic. Beograd Kreativni centar c2003. 当館請求記号 (Y17RS-S873-B3116)

王女・ナディアが船から海に落ちてしまいました。王様は「王女を助けたものを王女と結婚させる」と叫びます。王子や貴族がいる中で、海に飛び込んで王女を助けたのは泥棒のカジャでした。セルビアは、以前、ユーゴスラビア共和国の一部でしたが、2003年からモンテネグロとの国家連合のセルビア・モンテネグロになりました。2006年にはそれぞれ独立を宣言して、セルビアとモンテネグロになりました。

(ブルガリア)

44) Шапка на жабка: Малки залъгалки и весели стихотворения (箱の上の帽子: 言葉遊びと楽しい詩)

/Кръстьо Станишев София Светулка 44 2008.

当館請求記号 (Y17BG-S786-B10783)

ユーモラスな絵とともに言葉遊びと詩が収められています。

(ペルー)

45) Fonchito y la luna (フォンチートと月) / Mario Vargas Llosa ; ilustraciones de Marta Chicote Juiz. Lima Alfaguara 2010. 当館請求記号 (Y17PE-J93-B12476)

少年フォンチートは、少女ネレイダのことを好きになります。月を見つめながらいろいろ思いにふける少年の初恋物語です。ペルーの2010年ノーベル文学賞受賞者マリオ・バルガス・リョサが書いた児童向け絵本です。

46) Se nos perdió el alfabeto (アルファベットを失くしました) / Jose Luis Mejia ; ilustraciones de Ximena Castro. Lima Santillana 2007. 当館請求記号 (Y17PE-M516-B9486)

ABCブックです。日常のなかでAからZまでの文字が含まれるものを次々に探していきます。

2011.7.21～8.5	35 言語でハリー・ポッター	ベストセラーとなり各国で翻訳されたハリー・ポッターを 35 言語で見てください
2011.6.22～7.19	オタク日本愛?～フランスの児童書に見る日本	「カワイイ」「キレイ」な日本。でも何かがちよっと違うような感じがする日本を扱ったフランスの児童書です。
2011.4.21～6.21	詩と美術の国の児童書 イランの児童書	イランは児童書の出版大国です。詩と美術の伝統に支えられた同国の絵本はその美しさでも知られています。
2011.3.17～4.19	蛙くん、大活躍 ～蛙が主人公の民話・児童書～	世界のどこの国にもいる蛙。民話や児童書の世界でも大活躍しています。
2011.1.20～2011.3.15	もじゃぺ、再び	「もじゃぺ」というのはドイツのハインリッヒ・ホフマンの子ども向けの絵本「もじゃもじゃペーター」のことです。2006年に当館で「もじゃもじゃペーターとドイツの子どもの本」という展示会が開かれました。そのあとも「もじゃぺ」本は増えています。
2011. 11. 18 ～ 2011. 1. 18	見知らぬ国のアリス ～「不思議の国のアリス」の 挿絵画家たち～	おすまし風ドレスのアリスから、Tシャツのアリスまで、さまざまな挿絵の「不思議な国のアリス」。あなたの好きなアリスをさがしてみてください。
2010. 10. 21 ～ 11. 16	なんだか怖い、でも見たい ～不気味系絵本～	絵本のなかには、見ているとなにか怖くなるような絵本があります。また、一見すると可愛い感じですが、しばらく眺めているとだんだん不安に襲われるような絵本もあります。これらを仮に「不気味系」絵本と名付けて、展示してみました。
2010. 9. 16 ～10. 19	息をのむほど美しい絵本 ～現代ロシアの挿絵画家たち	「絵本の黄金時代 1920年代～1930年代」関連展示です。ロシアの絵本1920年～1930年代の絵本は数多く紹介されていますが、現在の絵本はあまり紹介されていません。今の子どもたちに人気がある、思わず手にとりたくなるような美しい絵本を展示してみました。
2010. 8. 19 ～9. 14	日本語に翻訳されていない、障害のある人たちのための本、障害のある人たちを描いた本	同時期に開催された「世界のバリアフリー絵本展」関連企画です。当館の外国の児童書のなかで、まだ日本語に訳されていない同テーマのものを展示しました。
2010. 7. 2 ～8. 17	子どもが欲しい ～世界の物語・民話に見る『申し子』『授かり子』たち	「むかし、むかしおじいさんとおばあさんがいました」で始まるお話はしばしば「子どもが欲しいと思っていました」と続きます。おじいさんとおばあさんはどのような子を授かり、そのあとどのようなようになったのでしょうか、いろんな国のお話を集めてみました。
(以下、省略) * これ以前のものについては、ホームページをごらんください。		